

大人の見る絵本 生れてはみたけれど (1932)

メディア 映画

ジャンル ドラマ コメディ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 91分

初公開日 1932/06/03

映倫 PG12

【解説】

巨匠・小津安二郎監督のサイレント期を代表する作品。子供の素直な視点から、肩書きに振り回されるサラリーマン社会の悲哀をユーモアを織り交ぜ描く。東京の郊外に引っ越してきたサラリーマンの一家。近くには父親の上司の家もある。さっそく、子どもたちは近所のガキ大将になり、その上司の息子も手なずける。ところが、父親はなぜか上司相手に卑屈な態度をとっていた。子どもたちにはそんな父の姿がたまらなく我慢ならなかった…。

【クレジット】

監督 小津安二郎

原案 ゼームス・楨 (小津安二郎)

脚色 伏見晃

潤色 燻屋鯨兵衛

撮影 茂原英朗

衣裳 斎藤紅

編集 茂原英朗

出演	斎藤達雄	父
	吉川満子	母
	菅原秀雄	長男
	突貫小僧	次男
	坂本武	重役
	早見照代	夫人
	加藤清一	子供
	小藤田正一	小僧
	西村青児	先生
	飯島善太郎	遊び仲間
	藤松正太郎	遊び仲間
	葉山正雄	遊び仲間
	佐藤三千雄	遊び仲間
	林国康	遊び仲間
	野村秋生	遊び仲間
	石渡輝秋	遊び仲間